

第4回景観再発見事業

村長賞は市村文雄さん(60)が連続受賞



第四回横越村景観再発見事業の審査会が、一月十二日(日)に役場で行われました。

作品は、三十八名から百二十三名の応募があり、弓納持福夫先生をはじめJA横越村、村商工会、(株)新潟フジカラー、新潟日報社などの関係者が審査にあたりました。

今回で第四回目になりましたが、審査員の方々の講評では「全体的にはいい写真が多かった」としながらも次のことにも配慮したら、もっといい作品が集まるのではないかと話がありました。

風景としてとらえた作品が弱かったが、農作業の写真にすばらしいものがあった。また、田園風景を撮る場合、構図的に「稲作」と「山」と「川」などの

拡がりのある作品も追求してもらいたい。

雪は、最近あまり降らないが、冬の美しさも追求してほしい。

イベントの中で、特に祭はとりくにいが、そこに参加している人だけでなく、見ている人もとりこんだ写真も追求してもらいたい。

ところで、村長賞には横越下の市村文雄さんの「よこしチューリップTROIIP98」が選ばれ、二年連続の受賞となりました。

この作品については、拡がりがあったチューリップの季節をみんなで楽しんでる雰囲気がとてもいいということでした。

なお、村長賞以外の入賞者等については、次のとおりです。
観光協会賞
村山 雅人(新潟市)
伊藤 静雄(新潟市)
JA横越村組合賞
佐々木 進(新潟市)
フジフィルム賞
今井 義隆(新潟市)
新潟フジカラー賞
野瀬山 信夫(沢海)
金 内山 周栄(木津)

新田自治会(横越中地区)

嘱託業務を三分割

中間答申に基づき再編

嘱託業務の見直し

新田自治会では、急増する世帯数と混住に伴う住民の意識変化に対応するため、昨年六月より、検討委員会を設置して、自治会の事務事業・村の嘱託業務・役員選任方法・会則の見直しなどについて、精査・検討を進めてきました。

このほど「嘱託業務の見直し」について中間答申がまとまり、自治会長から浅見村長に対して、嘱託員の三人体制へ移行されるように要請を行いました。

新田地区では、平成五年十月末現在の世帯数が四百十六戸を数え、引きつづき増加が見込まれており、村の嘱託業務については、現行一人の嘱託員で対応してきましたが、これを適正規模に分割し、より機動的に対処するためには、三分割が望ましいという結果になりました。その際、地域コミュニティの育成・強化のためにも、隣組を大切にし地理的・地縁的条件を最大限に配慮してきました。

あくまでも現行の自治会傘下の中で四百十六戸を三つの区に再編し、三人の嘱託員によって業務分担を行うこととしたものです。現在の隣組数は三十五組であり、これを三つの区に分割し、第一区は、十五隣組・戸数百四十五戸。第二区は、九隣組・戸数百二十八戸。第三区は、十一隣組・戸数百四十三戸とするものです。

当然三つの区が全て新田自治会として統合され、自治会長統理の下で協調と融和をめざすものです。

沢海地区で親子ふれあいパーティー

ドッジボールやゲームなどで親睦を深める

昨年十二月十九日(日)、沢海の横越村農村環境改善センターで親子ふれあいパーティーが開催されました。

これは、沢海地区でドッジボールやソフトバレーボールをやっているグループ(代表 伊藤千賀さん)が地域の親子の親睦と交流を深める目的に実施したもので、当日は親子百五十人以上の参加がありました。

- 梅沢 岩一(新潟市)
- 井越 忠夫(新潟市)
- 渡辺 章(豊浦町)
- 入 選
- 本間 一人(横越)
- 井越 忠夫(新潟市)
- 斉藤 市太郎(亀田町)
- 渡辺 章(豊浦町)
- 田浦 新吾(新潟市)
- 柴野 芳直(新潟市)

横越スポ少野球部Aチーム

ドッジボールで北信越大会へ

皆さん応援して下さい

新潟県小学生ドッジボール選手権大会の予選大会が昨年十二月十九日(日)聖籠町体育館で九十六チームが参加して開催されました。

この大会に横越スポーツ少年団野球部Aチームが参加し、各ブロック五チームでリーグ戦を行い善戦し、ブロック優勝をし決勝大会に進出しました。

又、決勝大会は、同じく十二月二十三日(日)、聖籠町体育館で二十四チームが参加して行われました。

- 細川 昭三(新潟市)
- 野瀬山 信夫(沢海)
- 佳 作
- 大森 勉治、市村 文雄
- 矢川 正樹、星 正一
- 野瀬山 信夫、坂井 吉司
- 川村 八郎、村山 雅人、斉藤 光一

屋野総合体育館で開催される北信越大会への出場が決まりました。

皆さんぜひ応援して下さい。

なお、北信越大会の出場予定選手名は次のとおり。
監督 藤田 力男
コーチ 原 邦夫
選手 坪谷雅彦、伊藤謙太郎、井越吉則、大島豪、佐々木敬倫、阿部智明、渡邊広野、遠藤章人、皆川友和、田村隆浩、早川皓、東城淳、佐藤大輔、栗山広和、植木雅俊、小池克和、齋藤勇太、中村克、佐藤満

第2回阿賀野川写真コンテスト作品募集

バスケットボール全日本総合選手権 武藤俊昭さん(28)(新潟教員A)が出場

建設省阿賀野川工事事務所では、阿賀野川の自然豊かな表情をカメラで捉えていただくことにより、阿賀野川を広くPRするため、次のとおり第二回阿賀野川写真コンテストの作品を募集します。応募下さい。

テーマ 「阿賀野川」を題材とした写真。川や河口、催事、自然等をとらえたもの。



一月二日(日)から東京代々木第二体育館を会場にバスケットボール全日本選手権が開催されました。大会には、学生や実業団チームが出場し、北信越代表として新潟県の新潟教員Aチームが出場しました。この新潟教員Aチームには、横越中の武藤俊昭さん

酪農組合が英会話教室



家族的な雰囲気です。レッスンを受ける

う機会に英会話を始めようということになり、昨年十一月から組合員とその家族を対象に、毎週月曜日、夜七時三十分から九時まで農協会館で英会話教室を始め、二十人余が参加しています。

村史編さんだより

⑤

観音嶋の由来

「観音嶋の由来、先ニ大庄屋平左衛門様佐右衛門様方より享保拾七年年書上被成候、当寅年迄凡九拾九年其節之庄屋元出帳見合可然哉之事」

付何方よりも何之さわりの無御座候、近年金左衛門様御野方段々喰出し罷成、右之嶋江村江村御事一野直銀指上ケ候節御役人様方御見分ハ無御座、野直銀指上候年数永八卯年より当年迄式拾式年ニ罷成申候。

候、乍然黒瀬名主方ニ而支配仕候御野直銀并御見取米黒瀬村名主与惣兵衛方ハ差出し申候、中嶋之儀ハ横越村地内ニ御座候前々申上候通草ら古来より横越村ニ而支配仕候野直銀横越村より式拾式年以前より御代官所江上納仕候。

この会の司会進行は、子供たちが中心となり、ドッジボールを行ったり、子供たちの手品や劇、ボール送りや歌などでのゲームで盛り上がり、有意義な一日を過ごしました。

また、前日から準備してきたおでんや豚汁などお母さんの味も十分堪能していました。

牛田増右衛門様
木村道右衛門様(村史文書)
右の庄屋平左衛門は蒲原組と横越組が合併前の享保十六年権合領名主である。